

第20回 第2分科会会議録(概要)		場 所	新宿区役所 第二分庁舎 1階 1 - 会議室
日 時	平成18年4月26日 午後2時00分～午後4時00分	記録者	【学生補助員】 竹前
		責任者	区事務局(青柳)
会議出席者： 36名 (区民委員： 32名 学識委員：1名 職員：3名)			
配布資料 1 第20回 新宿区民会議第2分科会 次第 2 第19回 第2分科会会議録 3 次回開催通知			
進行内容 1 はじめに 2 班別検討 3 その他			
会議内容 【発言者】 : 区民委員、 : 学識委員、 : 区職員			
1 開会 : 第20回第2分科会を始めます。			
2 その他 : 最初に「3 その他」から説明します。 (1) 編集部会・最終提言ワーキングが1回ずつ開催され、最終提言の章立てと構成について案がまとまりました。 書式については、「40字×35行 12ポイント MSP明朝」に決まりました。 【将来のあるべき姿】で1枚、【現状と課題】で1枚、の見開きという形です。小項目については、それぞれ8～10行で書き重複する部分を整理して1ページになります。 【現状と課題】については、1ページに収まるように特に整理が必要でしょう。 章立てでは、私たち第2分科会の意見は、大項目 の中に含まれることとなります。 編集部会から、大項目 の中で、高齢者について書くことはできないかという意見が出ましたが、第2分科会の世話人会では、分科会の検討内容とは異なっているので無理という結論になりました。 最終提言WGでは、最終提言では大項目ずつ20分間の説明をすることになりました			

た。

また、区長に提言書を渡すときに、この提言を大事にして区政を創ってほしいという宣言を行ったらどうかという意見が出ました。これについては、各分科会で意見を聞いたあと、次回のWGで結論を出すということになっています。皆様に伺いますが、最終提言にそのような宣言を付けることに賛成ですか？反対の方はいますか？・・・反対の方はいないようですね。

：質問です。宣言の中身はこれから考えるのですか。

：内容はこれから決めていきます。

大項目 には、人は一生の中でどのように幸せに生活できるかという視点で関連あるものを集めました。色々な内容のものを集めたため、少し無理があるかもしれません。文章にした後、整合性に問題があれば組み換えるかもしれません。介護・生きがい・こころと社会のバリアフリーは、まとまったものとして掲載されることに皆さん納得いただけたと思います。

マンションに関する問題は、第6分科会でも扱われていて、第2分科会の意見は先方に伝えてあります。

先日、臨時の世話人会が開かれましたが、提言について、学識委員に事前に読んでもらった方がいいのではないかという意見がでました。5月の連休が終わった後、学識委員に読んでいただくこととなります。5月8日(月)が最終期限ですが、できれば早めに事務局に提出いただければ、学識委員の方には早めにお読みいただくことができますので、よろしくお願いします。

何か質問はありますか？

：今日は提言をまとめるでしょうか？

：今日は提言の内容を検討する最後の日です。あとは実際の執筆に入ります。また、介護・生きがい・こころと社会のバリアフリーというタイトルは、そのまま使わず何かもっと表現力のあるものを考えることとなります。大項目も未定です。何かアイデアなどを考えてください。

3 班別検討

：それでは、班ごとに検討を行なってください。

(班別検討)

4 閉会

：6月から検討してきた分科会も、実質的に今日で最後になりました。皆さんとても楽しそうに話し合っていたように見えました。後は内容をまとめて最終提言にいただくこととなります。

提言書作成のために、自主的に集まる場合には会場を用意します。

今回は、提出いただいた提言書を基に話し合います。質問が無ければ終わりにしようと思います。長い間、お疲れさまでした。